

仮設給水栓（給水スタンド） について教えてください

Answer

1. はじめに

仮設給水栓は、地震・集中豪雨などによる自然災害発生時や配水管の緊急工事による断水時などに応急的に飲用水を供給することを目的として開発されたものです。

2. 構造

仮設給水栓は、複数のユニットからなり、設置は工具を使用せず簡単に組み立てられる構造となっています。保管時は分解した状態で収納ボックスやバッグに入れ、緊急時、容易な持ち出しを可能としています。

水栓部分は、多くの場合4栓の蛇口が取り付けられ、使用が簡単で一般的な単水栓が多いが、開閉頻度が多くなることを想定してハンドルを90度で通水・止水ができるボール式タイプや、開閉操作に力を必要としないレバー式ハンドルなど使用状況に応じたタイプがあります。

水栓部分までの高さは70cm～1m程度で、蛇口の先端には樹脂製のホースを取付け、非常用給水袋やペットボトル・ポリタンクなどの容器にも容易に水を入れることができます。

仮設給水栓の主要部品にはステンレス鋼管を使用し、接続部分は工具を必要としない継手を採用するなど、設置の安全性・作業性に考慮されかつ確実に供給できます。

スタンドタイプの仮設給水栓は、自立するため設置場所を選ばず、水の供給方法に影響を受けず設置が可能。学校の校庭や公園などの避難場所や、給水車に搭載して派遣先で使用することもできます。

<仮設給水栓の一例を示す>



写真1 仮設給水栓：スタンドタイプ

また、スタンドタイプは複数の仮設給水栓を直接またはホースを使用し数台連結させ、より多くの人々へ一度に飲用水を供給することができます。



写真2 仮設給水栓：消火栓直付けタイプ

道路下に設置されている消火栓に直接取り付け水を供給できます。

3. 仮設給水栓への水の供給

一般的には消火栓・貯水タンク・仮設タンク・応急給水槽、給水車などとホースで接続し使用します。

4. おわりに

自然災害など有事に備え、防災訓練などで仮設給水栓を使用し迅速・安全・確実に飲用水を供給できるよう、準備しておくことが大切です。

また、仮設給水栓は長期保管となる場合が多いため、防災訓練などで使用した後、蛇口は全開にするなどして完全に水分を乾かしてから保管することが望ましいです。

(出典:水道技術ジャーナル 2019年7月)